

中部支部 技術者交流会

期日：2021年12月17日

開催報告

今回、中部支部では、支部会員企業に所属する技術者の資質・活力の向上を図ることを目的として、環境アセスメント技術者の交流や情報交換を行う場とした位置づけで「技術者交流会」を企画した。

この技術者の交流会は中部支部では3回目の企画である。昨年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から開催できず、今回も当初予定していた7月には開催できなかったため、中部支部としては初めてとなるオンライン形式に変更して12月に開催した。また、今後の支部活動の参考とするため、参加者にアンケートをお願いした。

1. 参加技術者

今回の交流会には、10社・13名の技術者が参加した。参加13名の内訳は以下に示したとおりである。また、ファシリテーターとして中部支部運営委員4名が参加している。

開催年度		2021 (今回)*	2019 (前回)*	
参加会員企業		10社	10社	
参加技術者数		13名	18名	
内訳	経験年数	1-5年	10名	10名
		6-10年	1名	0名
		11-15年	0名	3名
		16年以上	2名	5名
	男女	男性	11名	16名
		女性	2名	2名
	専門分野	自然環境系	4名	10名
		生活環境系	7名	6名
特になし		2名	2名	

※ファシリテーター4名を除く人数。

2. 開催状況

交流会は、オンライン会議システム（Cisco Webex Meetings）を利用して、事務局及びファシリテーターのいる会場（貸会議室）と、各参加者のPCをインターネットで結び、14時30分から17時まで行われた。また、Webex Meetingsのグループ機能を活用し、開会挨拶～参加者自己紹介までは全員が同じグループで実施、意見交換は前半2グループ・後半3グループに分かれて実施、最後は全員同じグループに戻って感想発表、という流れで進めた。



会場の様子

3. 意見交換会

意見交換のグループは、あらかじめ設定した①アセスメント制度や技術に関する課題、解決策、②現在の業務内容と業務でやりがいを感じる事等、③直近の目標と

10年後の目標等、④働き方改革として会社が取り組んでいることおよび自身の所感、の4テーマについて事前に希望を確認した結果をもとに、1回目は全員が②で2グループ、2回目は①③④で3グループに分かれた。

また、各グループにはファシリテーターとして支部委員1または2名が加わり、意見交換を行った。

4. アンケート結果

アンケート結果をみると、グループの人数、進め方については、今回の設定が適当であったという意見が多かったが、意見交換の時間については「やや短い」「短い」という意見が半数近くあった。また、自由意見をみると、スムーズに意見交換できたと感じた参加者が多く、ファシリテーターの配置についても好意的な意見が多かった。

意見交換テーマについては、よりアセスに特化した内容や、具体的な内容が良いという意見や、テーマ選択ができて良かったという意見もあった。

5. おわりに

今回は、オンライン開催となったが、時間や移動の負担が軽減され、気軽に参加できたという意見も寄せられ、中部支部の活動としても意義深いものとなった。

たとえ直接集まることはできなくても、幅広い年代の技術者が環境アセスメントの技術的課題や課題解決のためのアイデア、仕事上の悩みやその解決方法など、さまざまな話題について語り合うことにより、交流を深め、同業界で働く技術者として連携していくための契機を提供する位置づけで、今後もこのような交流会を継続していければと考える。また、この交流会が支部会員企業の会員メリットの一つとして感じてもらえる企画であれば幸いである。

（レポーター：アジア航測（株） 小西久充）



グループ討議の様子